

# 長農祭



企画ポスター  
コンクール賞



# 大河信濃

第101号

発行日  
平成29年3月

発行

新潟県立長岡農業高等学校  
PTA広報委員会

〒940-1198  
長岡市曲新町3-13-1  
TEL(0258)37-2266

(題字:1年 小林 有夢)

## PTAのご縁に感謝



PTA会長  
**成松直樹**

早いもので平成二十八年度も残り僅かとなりました。ご縁を頂き会長という立場になり、私で務まるかと不安な一年間でしたが先生方をはじめ役員の方々、そして会員の皆様のご協力があつたからこそと大変感謝しております。本当にありがとうございました。

私にとって長岡農業高校でのPTA活動はとても貴重なものでした。先生方や多くの会員の方との交流は勿論でしたが、なんといっても他校、特に他県の役員の方々との交流は経

験することが出来なかつたものだと思っています。私がPTA活動をやってきて一番感じたことは、保護者の皆様には積極的に学校と関わって欲しいということです。そして子供達の顔をよく見て下さい。そのことが子供達の健全な育成と高校の活性化への一番の近道だと思います。私も今後は地域の一員として長岡農業高校を見守り、応援していくたいと思っております。

PTA会長の仕事もあと僅かとなりましたが、来年度の活動が円滑に進められるよう最後まで全力で頑張ります。会員の皆様と長岡農業高校のますますの発展を願っております。本当にありがとうございました。感謝

## 『三人のレンガ積み職人』



校長  
**伊藤本恵**

二学期始業式にイソップ寓話『三人のレンガ積み職人』の話をしました。

ある旅人が三人のレンガを積んで

いる職人に尋ねました。「あなたはこ

こでいつたい何をしているのですか」。

一人目の職人は「親方の命令で毎日毎

日一日中レンガ積みだ。まつたくつい

ていいないよ」。二人目の職人は「この

仕事のお陰で家族全員が食べていける

のだから、大変なんて言つたらバチが

あたるよ」。三人目の職人は「歴史に

残る偉大な大聖堂をつくっているんだ。

多くの人が祝福を受け、悲しみを払う

ことができるのだから、こんなに素晴らしい仕事は他にないよ」。

レンガ積みを「単なる仕事」と考えるか、「多くの人を助けるための大切な仕事」と考えるか。その人の心の持ち方次第で仕事の価値は変わり、働き方も変わってくると言うことではないでしょうか。

仕事の意義をしっかりと踏まえて働く人は、他の人から「やらされている」という考え方から解き放たれて、生き生きとした働き方ができます。そして、

自分の仕事のやり方にも創意工夫がみられるようになるものです。

生徒達には、自分の仕事に自信と誇りを持って、自分の力で困難に立ち向かい、自分で問題を解決できる粘り強い人になつてもらいたいと願っています。

# 第67回学校農業クラブ全国大会

大阪  
大会

10/  
26-27



## 入賞者 農業鑑定競技会

### ● 農業コース

優秀賞 3年 田中三冬

優秀賞 3年 清水星良

### ● 畜産コース

優秀賞 3年 関口小百合

### ● 食品コース

優秀賞 3年 新保 和



## 2016年 全国農業高校収穫祭

11/12・13 ● 東京大丸百貨店

### 全国農業高校収穫祭2016に参加して

3年1組 作物生産コース 長谷川 萌 今井 空  
動物科学コース 坂牧ゆかり 関口小百合

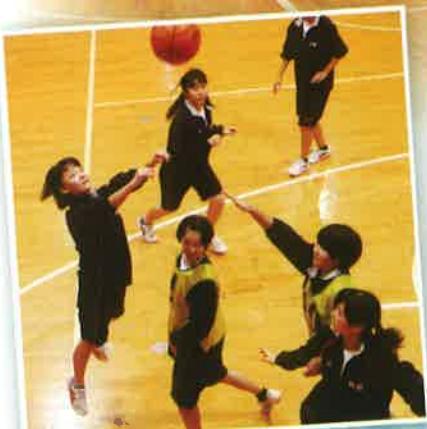
私たちは、11月12日、13日に東京で行われた「第8回全国農業高校収穫祭2016」に参加させていただきました。全国の農業高校生が日ごろの実習で作った農産物や商品化した生産物を販売しました。他県の農業高校の活動や商品を拝見することができ、とても貴重な体験になりました。

2日間の販売では、接客に力を入れて頑張りました。とても緊張しましたが、本校で生産したものを自信をもって売ることができました。明るく大きな声で「いらっしゃいませ。」と言えば、お客様が笑顔で返してくれます。日ごろできない経験ができ、楽しみながら販売することができました。2日目の午前には全て売り切ることができ、とても嬉しかったです。





# クラスマッチ 12/21(水)



心技体長農健



**男子**→バスケットボール

**優勝** 3-3

**2位** 2-2

**3位** 3-1 A

3-2

**女子**→バスケットボール

2-1 A

1-3 A

1-2 A

2-3

**男女混合**→バレーボール

3-1

2-4

3-2

1-4

**女子**→バレーボール

3-3 B

2-2 B

1-2

2-1 A



## ●編集後記

「大河信濃」を通して、普段の子供達の様子を知っていただけのようカラーで見やすい広報誌に仕上げております。学校行事やPTA活動がみなさんに伝わることを願っております。また原稿依頼にご協力いただいたみなさま、この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## ●写真提供者

久保田直樹 様  
服部 久典 様  
写真かたぎり 様  
フォトスタジオウスタ 様

## ●広報委員（敬称略）

関 ヒサ子／駒形 悅子／布施智恵美  
板垣 和枝／藤澤 殖子／佐野 春美  
星野 美和／小野 容子／大関 裕子  
平田 雅子／木村 豊／原 健一  
宇山 理恵／宮 圭子



◀長岡農業高校HP

# 校内学習成果発表会

1/20



最優秀賞

「長農豚 さらなる高みへ」 (県大会Ⅰ類出場)

3-1 大川 聖汰／稻垣 彩実／今井 琢斗  
小川 大輔／坂牧ゆかり／佐藤 寛也  
竹見 洋菜／永井 春花／西澤 茗恵

優秀賞

「朱鷺と人がつなぐ自然保護活動」

～地域環境保全の一端を担う私たちができる～ (県大会Ⅱ類出場)

3-2 石黒健太郎／伊藤 裕一／白倉 亮  
3-1 関 勇飛  
2-3 安達 蓮  
1-1 藤澤 美紅／田邊 珠羅  
1-3 吉田 航太

優秀賞

「子牛育成法の再構築」

～肥育素牛の価格向上を目指して～ (県大会Ⅲ類出場)

3-1 伊藤有希菜／曾田 琴音／関口小百合  
3-4 林 大暉／佐々木悠吏／高龍 怜  
榎 優衣／丸山 実花

優秀賞

「バナナカボチャ消費拡大に向けて」 (県大会Ⅳ類出場)

3-2 草間 友希／伊藤 裕一／大平 正行

細川ことみ／菅原 七海／諸橋 彩花

優秀賞

「樹上脱済でカキの魅力を再発見！パート5」

～長農サンサンフルーツのブランド化を目指して～

3-2 草間 友希／伊藤 裕一／大平 正行  
細川ことみ／菅原 七海／諸橋 彩花

優秀賞

「『長農米』の栽培技術の改良と経営改善」

～環境保全型農業の実践と米関連商品の開発～

3-1 小幡 光輝／小笠原百々翔／遠藤 冬哉  
山田 拓海／泉澤 庄太／平石 純也  
今井 空／長谷川 茗／神保 桃

\*県大会Ⅰ～Ⅳ類出場メンバーは平成29年7月13日に開催されるプロジェクト発表会に本校を代表して出場します。北信越・全国大会を目指して頑張って下さい。



第25回  
私たちと農業・JA意見文

食品科学科2年  
山之内なつめ

「酪農家」

我が家の中の職業です。私は酪農という両親の仕事が大嫌いでした。

私の生まれ育った新潟県魚沼市旧広神村は緑に囲まれた自然豊かなところです。この地で、両親は酪農を営んでいましたが、私は酪農が嫌で仕方ありませんでした。

そんな私が農業に興味を持ち、両親の仕事を尊敬できるようにならなければ、農業高校に入学し、たくさんの人との出会いがあったからです。

酪農という職業を最初から嫌いだったわけではなく、小学校のころはよく、搾乳や掃除などの手伝いをしていました。しかし、中学生のとき、「両親は牛を飼っている」と、打ち明けると、ある同級生からこう言されました。「くさい、近寄るな」「あいつの牛は汚いから触らない方がいい。」悪いことをしているわけではないのに、どうして自分がこんな思いをしなければならないのか。本当に悔しかったこの言葉は、今でも忘れられません。このような出来事から、私は農業が嫌いになり、両親の職業を恨むようになりました。その後、私は食品について興味を持ち、長岡農業高校に入学しました。1年次の農業と環境の実習はとても楽しく、毎日が充実していました。しかし、動物実習の時に、畜舎の前に来たクラスメイトがふとこんなことを言いました。「くさい」「汚い、こんなところ入れない」何気なく言ったことでしたが、私にとっては自分の家族が言われているようで、とても悔しく辛くなってしまいました。

しかし、大嫌いだった農業を今は誇りに思うようになったのです。みんなに大嫌いだった農業を好きになるきっかけをくれたのはある先生の言葉でした。我が家が酪農家だと言うと、「それはめっちゃいいことだぞ。農業っていうのはな、食をつくるおおもとで、人間が生きていく上で一番大事で一番すごいことなんだぞ。だから農家に生まれたお前は、すっごく恵まれた環境で育つ



てきていて、それってすごく幸せなことなんだぞ。」と教えてくれたのです。そして高校の授業では、農業が私たち人間の食料生産を担い、社会生活の基盤となっていることを学んでいます。これまでの授業の中で、農業の素晴らしさを知り、小さいころのように、また農業を好きになることができ、もっと農業についてたくさんの人に興味関心をもってもらいたいと、考えようになりました。今思えば、「くさい。」や「畜舎に入れない」と言った同級生は、酪農や農業のことをよく知らず、こう言ってしまったのではないかでしょうか。確かに、野菜や牛乳を手に入れるのは畑や牛舎ではなく、スーパーが多いと思います。土もついていない、臭いも気にならない、きれいにされた状態の農産物を手に入れることができます。そんな世の中だからこそ、農産物がどうやって作られているのか。どんな風に実がなり、木は土に埋まっているのかなど、もっとたくさんの人に知ってもらいたいと私は思います。私は今、胸を張って言えます。両親の職業、酪農家は人間の生きる源「食」を作る素晴らしい職業です。私は将来、農家レストランを経営するのが夢です。レストランでは、旬の野菜をふんだんに使い、魚沼ならではの食材を提供していきたいと考えています。それだけではなく、お客様が自分たちで収穫した野菜や牛乳を使い、スーパーのものでは味わうことのできない、採れたての食材を使い、本来のおいしさを味わえるような、体験型の農家レストランにして、たくさんの人に味わってもらいたいです。そして、このような体験型の農家レストランを通じ、たくさんの人に農業について興味を持ってもらいたいと考えています。また、おいしい食べ方や、規格外品の良さなどを知ってもらい、「食」を楽しみ、農業の素晴らしさを知ってもらえるような、そんな方々が集まって憩いの場となるよう、地域の農家レストランにしたいと考えています。そして、農家に興味をもったお客様が、「ちょっとプランターで野菜を育ててみようかな。」そんなきっかけを作れるようなオーナーを目指していきたいと思います。

努力賞 「米農家」 農業科1年 藤田 隆生

# 修学旅行

10月12日～15日 — 鹿児島

- 1日目 特攻平和会館・指宿(泊)
- 2日目 薩摩半島民泊体験
- 3日目 鹿児島水族館・市内班別行動
- 4日目 磯庭園



1組



2組

仙巒園



3組

仙巒園



4組

## 修学旅行の思い出

2年1組 五十嵐篤人

私たちは3泊4日で鹿児島県に修学旅行に行ってきました。初日に訪れた特攻隊記念館では、私とさほど歳の変わらない人たちが、自らの命を犠牲にして国を守ろうしてくれたことを学び涙しそうになりました。2日目には民泊体験で塙谷さん宅にお世話になり、普段体験できない船にのせてもらい、釣りをさせてもらいました。船酔いの心配もしましたが、することなく楽しい時間を過ごさせていただきました。別れのときは、寂しい気持ちになり、クラスメイトの中には泣いている人もいました。

桜島は大きく圧倒されましたが、とても雄大でスケールの大きさには感動しました。3泊4日の短い旅でしたが、貴重な時間を過ごせてもいい、また、鹿児島に行きたいと思いました。

## 鹿児島のいいところ

2年2組 中村 雅

私は、鹿児島に行って良いところを沢山見つけました。鹿児島の方々はとても心が温かくて、元気や笑顔をもらいました。鹿児島はステキな魅力の詰まった美味しい食材も沢山ありました。人を幸せにできる鹿児島。そんな素晴らしい場所に修学旅行で行くことができ良かったです。またいつか鹿児島のステキな場所を探しに行きたいです。

## 平和な日本

2年3組 長谷川 茜

私が一番心に残ったことは、知覧特攻平和会館の見学です。知覧の特攻隊のことは学校で少し学習したくらいの知識しかなかったのですが、今回実際に見て様々なことを学びました。出撃すると二度と生きて帰ってこれないと知った隊員達はその時どんな思いを抱き、その後どんな思いで過ごしていたのかを考えただけで胸が張り裂けそうでした。家族への手紙は、本心を書けず色々な思いと葛藤して書いていた姿を想像すると、複雑な気持ちになり、私だったらきっと手紙を書けないといました。知覧で感じたり学んだりしたことを無駄にせずこれから的生活に活かしていきたいと思います。

## 修学旅行を終えて

2年4組 渡邊 紗来

私たち2年生は、修学旅行で鹿児島に行ってきました。最初は4日間も鹿児島なんて…と思っていたのですが、行ってみると1日1日が楽しくて4日間があっという間に終わりました。私が一番思い出に残っているのは民泊体験です。知らない人のお宅にお世話になるのは人見知りの私にとって少し抵抗がありましたが、2日間本当に優しくしていただけて楽しかったです。この体験を今後に活かしていくならと考えています。

